

晴耕雨読 59

Vol.59 Nov 2020 seikoudoku

朝の肌を刺すような冷気に、気持ち引き締まるこの頃です。皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか？



八勝寺阿弥陀堂(湯前町)

八勝寺阿弥陀堂は、人吉盆地東端、湯前町南部に位置し鎌倉時代の創建と考えられている。同堂は平成14年に重要文化財に指定され、平成24年から3年かけ解体修理を施し、16世紀後半の姿に復元されました。奥球磨の穏やかな田園風景の中にひっそりと建っています。H/N

発行：株式会社 建設プロジェクトセンター
建設コンサルタント・地質調査 解析・測量全般・
・補償コンサルタント登録
〒869-1234 【※本社が北区弓削に移転しました】
熊本県菊池郡大津町引水 215-1 (技術研究所)
本社：熊本市 / 八代支店 / 合志営業所
TEL：096-293-4400/FAX：096-293-4885
E-mail：kenpro@muc.biglobe.ne.jp

ちそくあんぶん
「知足安分」 高望みをせず、自分に合った生活を送るという意味。心穏やかに過ごすことが大切ですね。

身近な秋のすばらしさ (～秋を楽しむ編～) Recommended Spot

身近な秋の楽しみ方



秋が来ると必ず思い出す文部省唱歌
月 静かな静かな里の秋 お瀬戸に実のみの
落ちる夜は ああ母さんとただ二人 栗
の実煮てます 団炉裏端 月こんな日本の何
処にでもある原風景(ふるさと)が昭和生まれ
の人には分かります。秋の柿、紅葉など鮮やかで良い景色ですね。H/N

高原にある good な小学校



11月19日、りんどうヶ丘小学校6年生の持久走大会に遭遇。高原にある小学校で丁度、校舎の裏側はススキ草原。秋日に輝いていた。周辺には、ススキや赤松、そして遠くに風車が見える環境にある。H/N



県庁

臨時列車【SL 鬼滅の刃】

ここまでブームになるとは…。『鬼滅の刃』とのコラボで、大正時代に活躍した蒸気機関車「SL 人吉」のナンバープレートが無制限に変更して「無限列車」仕様となって運行していますが、こうなるも熊本県警も黙っていないですね。過去にも流行フレーズをもじった掲示板で話題になっていましたが、現在はコレです。あまり上ばかり気にして運転していると、事故になりますが、【全集中】で確認してみてください。T/B

黄金色の絨毯 (秋色)

各地から紅葉の便りが聞かれます。真っ赤にそまる紅葉も秋ならではの美しさですが、イチヨウの葉が落ちて、地面が黄色く染まる景色も秋にしか見られない特別な景色ですね。左写真は県庁。

秋桜咲きほこる



自宅近くの畑に咲くコスモスが見ごろを迎えています。ふと、「本来お米や野菜を植えるはずの畑に何故コスモスなのか？」と不思議に思い調べてみました。やはり理由はあるようで、①田畑が荒れるのを防ぐ②緑化効果がある③景観植物として楽しませる④休耕田に植えると補助金が出る。毎年何となく見ていた田んぼのコスモスには、いろんな理由や効果があり、農家さんの手間暇で楽しませて頂いているんだなあ～と思うと、ありがたみが倍増しますね♪ O/I

花を贈ろう。花を飾ろう

山鹿市役所の一角にお花が飾ってありました。秋色を基調としたアレンジで落ち着いた印象を受けました。普段注目することがなかったのですが、改めて見てみるといろいろな形の花があります。どれもお互いを邪魔することなく、調和のとれた空間が広がっており心地よかったです。やはり花のある空間は良いですね。T/K



あそ太くん出動

阿蘇駅前にあるウソップ像の芝をお手入れしてくれる芝刈り機【あそ太】!! 充電した電力がなくなると、自分で家へ帰るそうですヨ。JR 豊肥本線も開通し、あそ太の仕事ぶりを見に阿蘇駅へ足を運ぶのもイカかもしれませんね。H/N



身近な環境への思い (食べる・健康・楽しむ) Human Architectur

コロナに負けない体づくり



コウモリじゃないよ! 黒にんにくだよ!

持病持ちの小生は、罹患リスクの高い高齢者予備群に仕分けされ、常備の処方薬と共に予防保全生活を行っている。先日、持病持ちの会話で「黒ニンニク」が優れ物だと耳にし、現在1日1片で効果検証中である。当該話手の皆さんは、自分で製造しておられました。材料は国産品がよしいとのこと。黒ニンニクは、乾燥にんにくを一定温度・湿度を保った状態で、1か月ほど熟成させたもので、熟成が進むにつれて真っ黒になり、ドライフルーツのような甘みと食感です。効果が見えたら、自分で作ってみたいと思っています。処方薬要らなくなるかも! A/T

大横綱を訪ねて



郷土力士の活躍で注目を浴びる相撲界。宇土市栗崎町出身の八代横綱不知火諾衛門は、土俵入りで舞う不知火型の創始者であると言われています。墓は宇土市の市街地が一望できる小高い丘にあり、趣のある墓石は、由緒ある馬門右で弓形の形状をしており、相撲道・地元へのこだわりと力強さを感じさせるものでした。また、大津町下町出身の11代横綱不知火光右衛門の史跡は県道瀬田立田線沿いにあります。郷土の先輩である不知火諾衛門の弟子として角界に入り、右を差したら盤石の厳しい取り口が特徴でした。両横綱とも引退後は相撲界で後進の指導をされており、時代を経た今でも親しみ尊敬される存在であると史跡を巡って感じました。正代関も、是非とも熊本ゆかりの不知火型での土俵入りを見たいと願っています。B/I

秋の根子岳



根子岳

根子岳は、約9万年前のAso-4火砕流以降に形成されたカルデラ火山(中央火口丘)阿蘇火山の1つと考えられていたが、新しい研究では約13万年前のAso-3火砕流に覆われているため、他の中央火口丘群より古く、15万年前頃に形成された安山岩の成層火山と考えられているそうです。T/M



バラは春のイメージが強いですが、秋バラは香りが強いのが特徴だそうです。N/S

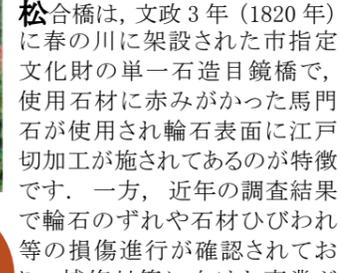
自作の石橋



以前、白磁の石橋を作りました。まず、粘土をこねて羊羹(ようかん)状にします。それを、台の上で曲げて(橋の面組状態)、糸で切断(ここ、デンタルフロスを使う要領)すると輪石ができます。次に素焼きして絵付け、本焼き。そして角度が合う石を拾ってきて架設。写真の右岸は四方十川源流の石、左岸は菊池水源。M/T

身近な土木文化への思い (暮らしを支えるインフラ) Civil Engineering

松合めがね橋



松合橋は、文政3年(1820年)に春の川に架設された市指定文化財の単一石造目鏡橋で、使用石材に赤みがかった馬門石が使用され輪石表面に江戸切加工が施されてあるのが特徴です。一方、近年の調査結果で輪石のずれや石材ひびわれ等の損傷進行が確認されており、補修対策に向けた事業が進められております。今後、この歴史的土木遺産を観光資源や地域活性化に活用していくと共に、その歴史的文化和土木技術を次世代に伝えていくことが大切だと感じます。T/M

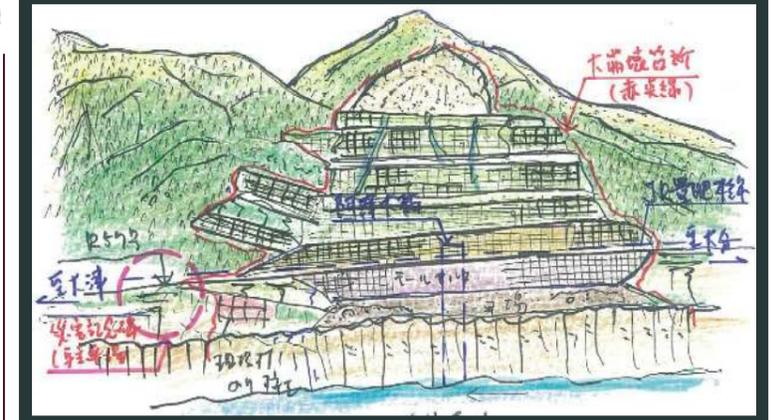


後記：熊本地震から4年経過した8月、国道57号線の代替ルート(大津町～阿蘇市)が開通。多くの人が阿蘇を訪れた。令和の地域間を結ぶ『令和街道』と呼ばたい。【スポーツ会では、プロ野球・サッカー・大相撲をはじめ甲子園・総体等が中止となった。今しばらく我慢して必ず体と心の糧に。今後には必ず活かされます!】

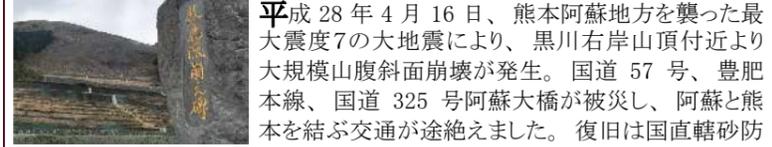
令和の街道地域を結ぶ



国道57号が10月3日に開通し、二重峠トンネル3659mを含む約13kmと現道部(約2km)を4年半という異例のスピードで完成された。北側復旧ルートでは、ミルクロードルートと比較し、大津・赤水間の所要時間が約23分短縮。昼夜連続作業など建設業界の活躍が極めて大きいと評価されています。大津ICと阿蘇西ICの間に大津東IC、車帰ICが配置されており、地元住民や観光客の利便性に配慮。1000年前からこの地点は重要な交通の結節点でした。(S/N・S/K・N/K 共著)



数鹿流崩(すがるくずれ)之碑



平成28年4月16日、熊本阿蘇地方を襲った最大震度7の大地震により、黒川右岸山頂付近より大規模山腹斜面崩壊が発生。国道57号、豊肥本線、国道325号阿蘇大橋が被災し、阿蘇と熊本を結ぶ交通が途絶えました。復旧は国直轄砂防事業として、無人化施工技術を用い懸命の工事を経て令和2年10月に完成。厳しい自然に対する挑戦の歴史を語り継ぐ遺構として、道路敷地を活用して石碑と駐車場が整備されています。この場所から復旧した斜面と阿蘇大橋の上部工の残骸が見えます。また、石碑に刻まれた銘文は、すぐ近くに見える数鹿流瀧に由来します。上図は3月スケッチH/N

